【足羽川の利活用】

足羽川での植物観察会（第55回身近な環境セミナー）

日　時　：　平成22年9月23日（木）　9:30～12:00

場　所　：　雪対策・建設技術研究所　会議室

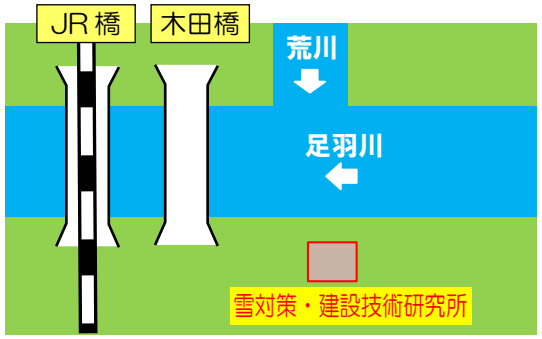
主　催　：　福井市環境パートナーシップ会議

後　援　：　福井県河川課

参　加　：　20名

内　容

足羽川でみられる絶滅危惧植物の観察会が開催された。当日は雨のため、屋内での学習会となった。環境省希少野生動植物保存推進委員の赤井賢成氏を講師に市民ら約 20 名が聴講した。福井県の植物相の特徴や地球温暖化、外来種等により多くの植物が絶滅の危機に瀕していることを参加者らは学んだ。



FEPS 主催 第５５回 身近な環境セミナー

足羽川での植物観察会

日　時　平成２２年９月２３日（木・祝）９：３０～１２：００

集合場所　足羽川左岸河川敷　新堀橋上流河川駐車場（地図裏面）

内　容　河川敷で絶滅危惧植物のタコノアシや秋の七草の一つであるフジバカマを探します。

※ ただし、採取はできません。

対　象　市内に在住人（小学校以上保護者同伴）

講　師　環境省 希少野生動植物保存推進委員　赤井 賢成 氏

定　員　３０人（先着順）

参加料　無料

持ち物　帽子、携帯ＳＨＯＰＰＥＲ、タオル、飲み物

申　込　９月１３日（月）から福井市環境課にて、窓口（市役所別館４階）または電話（２０-５３８６）で受付

※ 雨天の場合は室内で「福井県の絶滅危惧植物の現状とその保全」についてスライドをまじえて話します。

雨天の場合の集合場所：福井県雪対策・建設技術研究所
福井市春日３-３６３　電話：０７７６-３５-３４１３

雨天の場合のみ、当日に電話連絡します。

主　催：福井市環境パートナーシップ会議
後　援：福井県河川課
問合せ先：福井市環境パートナーシップ会議　事務局
（福井市役所　環境課内）
TEL(0776)-20-5386　FAX(0776)-20-5391
E-mail：kankyo@city.fukui.lg.jp
ホームページ：http://www.city.fukui.lg.jp/

案内チラシ

植物との共存 考えて

福井 市民ら20人学習会

県内の絶滅危惧植物について学んだ学習会＝23日、福井市の県雪対策・建設技術研究所

県内の絶滅危惧植物について調査し、保全方法を考えなければならない。関心のある人パートナーシップ会議」が主催。市自然史博物館の元学芸員赤井賢成さんが講師を務め、県内に自生する植物の1割にあたる約270種の外来植物が確認されており、年々増えていることなどを報告。秋の七草のうちフジバカマとキキョウ、オミナエシの3種が野山ではほとんど見られなくなり、「『秋の四草』になりつつある。減り、身近な自然の変化に関心を持つ大切さを学んでいる場所について理由やまだ自生していることを解説した。

（H22.8.24）福井新聞

絶滅危惧植物の現状などの講義を受ける参加者ら（福井市春日の県雪対策・建設技術研究所で）

自生植物の1割が外来種

福井でセミナー「秋の七草9種危機」

在来種の生態系に悪影響

参加者は秋の七草として知られるフジバカマなどが絶滅の危機にあることを知り、身近な自然の変化に関心を持つ大切さを学んでいた。

同市の市民団体「市環境パートナーシップ会議」が主催。市自然史博物館の元学芸員赤井賢成さんが講師を務め、県内に自生する植物の1割にあたる約270種の外来植物が確認されており、年々増えていることなどを報告。秋の七草のうちフジバカマとキキョウ、オミナエシの3種が野山ではほとんど見られなくなり、「『秋の四草』になりつつある。減

（H22.8.24）読売新聞